NVAニュース

№３３５　　2017.2.1 発行
一般財団法人長野県バレーボール協会
上伊那郡辰野町中央 606-1
Tel: 0266-75-2101　Fax:0266-75-2102
発行責任者　竹淵　光雄

V・チャレンジリーグ I 男子 2016/17 レギュラーラウンド 伊那大会

VC長野トライデンツ 地元での2連勝で2位に浮上！

【県協会総務副委員長　木下久資】

ＶＣ長野の選手の指導を受ける中学生

１月 14 日（土）・15 日（日）の２日間、Ｖ・チャレンジリーグＩ男子 2016/17 レギュラーラウンド～ＶＣ長野トライデンツ（以下「ＶＣ長野」）のホームゲームが伊那市民体育館で開催されました。

尚、その前日の夕刻、ＶＣ長野の選手達によるバレーボール教室が開催され、伊那市内の中学校バレー部で希望した１・２年生男女約 50 名が指導を受けました。中には、自分の１．５倍近くも身長がある選手から出されるボールを、喜々として追い掛ける中学生の姿が印象的でした。

試合前のキッズ・エスコート

南箕輪村に拠点を置くＶＣ長野にとっては初の地元開催となった 14 日（土）は、前回の対戦でフルセットの末に惜敗した富士通カワサキレッドスピリッツ（以下「富士通」）との一戦でした。

一時は最大４点の差を付けられたＶＣ長野でしたが、ピンチサーバー：池田の好サーブをきっかけに追い付き、終盤の競り合いもレフト：峯村の強打等で 25－23 で制しました。第２セットもミドル：森崎のクイックや主将：栗木の巧打等で取った後、第３セットは終始主導権を握られて 20 点で落としたものの、右足痙攣の栗木に代わって入った池田が第４セットでは躍動。逆に終始ペースを握って 25－15。セットカウント３－１で富士通を撃破しました。

これでＶＣ長野は４連勝で通算７勝３敗。勝ち点を 23 に伸ばし、富士通と入れ代わって２位に浮上しました。

エムスターズのチアリーディング

２日目の 15 日（日）は、リーグ下位に沈む埼玉アザレアとの対戦でした。

第１セットは、前日同様、地元の大声援を背景にＶＣ長野が、オポジット：小林のスパイク等で圧倒。これで一気に行くかと思われましたが、昨日の決戦を制して気が抜けたのか、第２セットは攻撃が相手ブロックに捕まる場面が目立ち、20 点で落としてしまいました。この嫌なムードを断ち切ったのは、森崎に代って入った市川。セッター：多田の多彩なトス回しにも乗って、ライトへの流れ攻撃等でアクセントを付け、15 点に抑えて第３セットを奪取。第４セットも中盤

迄リードされたものの、オソキン・市川の両ミドルや小林等の高さを生かして一気に６連続得点で逆転し、そのまま逃げ切りました。

この勝利でＶＣ長野は、第１試合で富士通が大同特殊鋼に負けたこともあって、３位：富士通に勝ち点差を４に広げて２位をキープ。２日間で延べ 2,100 人が詰め掛けた会場が、正に興奮の坩堝（るつぼ）と化す大会となりました。

尚、この大会開催に当たっては、地元の上伊那協会を中心に延べ 200 人の役員態勢を敷いて頂きました。又、上伊那郡内の小学生約 60 名がエスコートキッズとして協力した以外にも、伊那市立東部中学校男女バレー部員・春富中学校女子バレー部員計 50 名がモッパーや得点係として参加。更には、M’ｓ☆ＳＴＡＲＳ（エムスターズ）という伊那市及び近隣市町村の小学校２年生から高校３年生で構成されるチアリーディングスクールの中から２日間で延べ 60 名余りが応援・声援に華を添え、大いに盛り上げてくれました。最後とはなりましたが、御尽力・御協力頂いた皆様方に感謝を申し上げたいと存じます。

試合後、ＶＣ長野の選手と記念撮影をするM's☆ＳＴＡＲＳ中高生チーム「ＢＬＯＳＳＯM」や東部中男子バレー部

V･チャレンジリーグ１男子 2016/17 レギュラーラウンド 大町大会

VC長野トライデンツが更に連勝を伸ばして2位をキープ

【大北協会理事長　中村元治】

日本中を今季最強寒波が襲った伊那大会から一週間後、１月 21 日（土）・22 日（日）の両日開催されたＶＣ長野トライデンツのホームゲーム～Ｖ・リーグチャレンジⅠ大町大会は同じく大寒のこの時期。

地元役員も皆覚悟はしていたものの、予想通り初日はしんしんと降りしきる大雪の中で始まり、２日目は快晴とはなりましたが、氷点下 10 度の寒さの中で、入場口からは冷たく強い風が吹き込むという厳しい環境となりました。

しかし、そこは白熱したレベル高いプレーを間近で見ることが出来るという喜びと、培った強い絆で呼びかけに集ってくれた 100 名以上のスタッフの力、更には市民の生活を最優先にしながらも早朝から駐車場の除雪などで全面的な御協力を頂いた大町市のお陰で、館内は寒気を歓喜に変えることが出来ました。

さて、ＶＣ長野トライデンツの試合結果は、前回フルセットの末に惜敗となったトヨタ自動車サンホークスにストレート勝ちで雪辱を果たし、２日目も前回苦戦を強いられたつくばユナイテッドサンガイアに圧倒的な力の差を見せつける形で勝利し、７連勝を飾りました。

次節には首位攻防戦となりますが、勢いを維持し是非とも連勝を伸ばし、プレミア入りに向かって突き進んで頂きたいと存じます。

終わりに、初めてのホームゲーム開催で行き届かない点もあったかと存じますが、地元スタッフに対して親切に御指導頂いたＶＣ長野事務局の皆様、そして支えて頂いた大会役員スタッフの皆様に心より感謝申し上げます。

平成 28 年度 長野県高等学校新人体育大会 バレーボール競技大会

男子は創造学園が5連覇 女子は東海大諏訪が6年振りに制覇

【高体連専門委員　安川裕幸】

長野県高等学校新人体育大会バレーボール競技大会が、長野運動公園総合運動場総合体育館を中心に１日目に１回戦、２日目に２回戦と準々決勝、３日目に準決勝と決勝・３位決定戦の日程で、1 月 14 日（土）から 16 日（月）にかけて行われました。

男子は、順当に上位シードのチームが勝ち上がり、決勝戦は、前年度優勝の創造学園高校と岡谷工業高校の対戦となりました。１セット目は、岡工が序盤、効果的なサーブと粘りのあるレシーブで相手を崩してリードしましたが、中盤以降にミスが続き、25 対 16 で創造が奪いました。第２セットは、確実なレシーブからクイックを絡めてサイドに展開する岡工に対し、高さのあるブロックと多彩なコンビで確実に加点する創造。お互いに粘りを見せ、終盤まで互角の試合展開でしたが、最後は創造にミスが出て 26 対 24 で岡工が勝利。セットカウント１－１としました。最終の３セット目は、序盤から攻める創造に対し、岡工が対応できずに連続得点を許す展開。レシーブからのコンビと高さのある３枚ブロックで着実に加点し、25 対 13 で創造が圧倒。５年連続７回目の優勝を達成しました。

一方の女子は、ベスト８に北信地区の高校が４校勝ち残る健闘をみせました。又、ベスト４の東京都市大学塩尻高校・松商学園高校・東海大学付属諏訪高校・長野日本大学高校は、シード校として安定した力を発揮しました。

大会３日目の決勝戦は、東京都市大学塩尻高校と東海大学付属諏訪高校の対戦となりまた。１セット目は、都市大塩尻が攻守ともに安定し、セッター：佐藤を中心に速いコンビバレーを展開。要所ではエース：古田・吉沢やライトの板垣が得点して点差を引き離し、25 対 17 でこのセットを奪いました。２セット目に入ると、今度は東海大諏訪が序盤からリードを奪い、ライト：二村やセンター：菊池と花岡の強打やブロックが決まり、都市大塩尻を 19 点に抑えて、セットカウントを１－１としました。３セット

目は一転、シーソーゲームとなり、20 点以降、東海大諏訪がリードを奪ってマッチポイントを握りましたが、都市大塩尻も粘って追い付き、デュースに縺れ込みました。最後は東海大諏訪がこのデュースを制し、セットカウント２－１で勝利しました。これにより東海大諏訪は都市大塩尻の７連覇を阻止すると同時に、６年ぶり１１回目の優勝を成し遂げ、存在感を見せつけました。

尚、男女各上位８チームは、平成 29 年４月に行われる中部日本総合選手権大会 高校の部長野県予選会への出場を推薦され、男女各上位４チームは、平成 29 年２月 10 日（金）から 12 日（日）に福井県で行われる北信越高等学校新人バレーボール大会に出場します。

又、競技大会終了後、第 72 回国民体育大会に向けた県選抜選手の第一次強化指定選手選考委員会が開かれ、男子 24 名・女子 24 名の選手が選考されました。

第 72 回国民体育大会（少年の部）第一次強化指定選手

【男子】

1.	堀夏　央哉	創造学園	２年
2.	ｴﾊﾞﾃﾞｰﾀﾞﾝﾗﾘｰｱｲｹｰ	創造学園	１年
3.	瀧　　直理	創造学園	１年
4.	朝野　翔雲	創造学園	１年
5.	米山　大智	創造学園	２年
6.	神宮　拓海	創造学園	１年
7.	赤羽　龍光	創造学園	１年
8.	山田　広大	創造学園	２年
9.	上野　将輝	岡谷工業	２年
10.	浅田　隆也	岡谷工業	２年
11.	井上　拓海	岡谷工業	２年
12.	高柳　和弥	岡谷工業	２年
13.	中澤　俊稀	岡谷工業	２年
14.	高坂　大騎	岡谷工業	２年
15.	下平　凌雅	岡谷工業	２年
16.	米山　圭輔	岡谷工業	２年
17.	大内　真生	長野工業	２年
18.	小林　駿斗	長野工業	２年
19.	笹岡　歩夢	長野日大	２年
20.	吉澤　太一	長野日大	２年
21.	小林　大悟	上田西	２年
22.	北原巧太郎	東海大諏訪	２年
23.	宮川　郁真	松本県ケ丘	２年
24.	湯本　真吾	長野東	２年

【女子】

1.	二村まこと	東海大諏訪	２年
2.	菊池　桃果	東海大諏訪	１年
3.	藤澤　望友	東海大諏訪	２年
4.	花岡　そら	東海大諏訪	１年
5.	倉澤　瑠衣	東海大諏訪	２年
6.	高野　夏輝	東海大諏訪	１年
7.	小澤　紀香	東海大諏訪	２年
8.	吉沢　菜月	都市大塩尻	２年
9.	古田怜美奈	都市大塩尻	２年
10.	北堀　春奈	都市大塩尻	２年
11.	佐藤　優華	都市大塩尻	２年
12.	板垣　麻衣	都市大塩尻	２年
13.	原　　優香	都市大塩尻	２年
14.	田中　李苑	都市大塩尻	２年
15.	降幡　加菜	松商学園	２年
16.	福澤　美沙	松商学園	１年
17.	田貝明日香	松商学園	２年
18.	山崎　れな	松商学園	２年
19.	黒岩　紗子	長野日大	２年
20.	井出　理菜	長野日大	１年
21.	宮嶋　小夜	長野日大	１年
22.	白石ふう香	長野日大	１年
23.	中島　愛未	須坂東	１年
24.	横澤　真優	長野	２年

エプソン杯 第 32 回長野県中学校バレーボール選抜優勝大会

女子は裾花中が5連覇 男子は小布施中が6年振りに優勝！

【県強化委員：安藤利長・木下久資】

中学生の新人県大会に当たるエプソン杯が 1 月 28 日（土）・29 日（日）、男子：小諸市立小諸東中学校・女子：東御市立東部中学校をメイン会場に開催されました。

女子の決勝は、準決勝で東信地区 1 位の上田市立塩田中学校を破って勝ち上がった北信地区 1 位の長野市立裾花中学校と、同じく中信地区 1 位の塩尻市立塩尻中学校をフルセットの末に破って勝ち上がった南信地区 1 位の辰野町立辰野中学校の対戦となりました。

決勝戦は、昨年のスタメンがほとんど残った裾花中が、伝統の高速コンビバレーで終始相手を圧倒しました。セッター：山岸が、千葉・湯本のセンターからの速攻や上島のＤクイック等、速いテンポの攻撃に絡めて、西原・近藤のサイドからの強打を引き出して相手を翻弄。辰野中も河手・瀧澤を中心に反撃を仕掛けましたが、11 点と 7 点に封じ込められ、裾花中が見事 5 年連続 28 回目の優勝を決めました。裾花中には小学校時代に全国優勝を経験したメンバーも含まれ、これからの活躍が期待されます。

又、塩田中と塩尻中の対戦となった北信越大会出場順位決定戦は、終盤迄一進一退の攻防が続いて行きましたが、最後は攻撃力で勝る塩田中が 25－17、25－20 で競り勝ち、第 3 位となりました。

一方、男子の決勝戦には、先ず北信地区 1 位の小布施町立小布施中学校が、北信 4 位ながら 1 年生エース：石坂を中心に波に乗って勝ち上がって来た長野市立広徳中学校を下して進出しました。その相手は、前回大会及び昨夏のチャンピオンチーム：南信地区 1 位の伊那市立春富中学校をファイナルセットもデュースにもつれ込む接戦で振り切った東信地区 1 位の立科町立立科中学校となりました。双方小学生バレーの経験者でスタメンを固めるチーム同士の対決でした。

1 セット目は、余り身長は高くないものの、ジャンプ力にものを言わせて力強いスパイクをコースに打ち分ける両エースの活躍で、立科中が中盤以降抜け出して、25－21 で先取しました。2 セット目に入ると、立科中の穴を突く攻撃で小布施中が 20－12 と大量リード。ここから立科中もジリジリ追い上げて、レシーブのラッキーポイント等でデュースに追い付きましたが、何とか振り切って今度は小布施中が制しました。そして最終、第 3 セットは中盤過ぎ迄は競り合い。終盤、今度は小布施中にレシーブのラッキーポイントが出たところに立科中のミスが絡んで、24－22 と小布施中がマッチポイントを握りましたが、立科中もブロック等で再びデュースに追い付きました。流石に両チーム共ミニバレーの経験者を揃えているだけあってレシーブ力が高く、ボールが落ちそうで落ちないラリーの応酬に会場も響（どよ）めく展開となりました。25－25 からサービスエースで立科中が逆にマッチポイントを握りましたが、次のサーブはジャストアウト。胸をなで下ろした小布施中が、今度は好サーブで作ったチャンスをものにし、28－26 で 1 時間 13 分の大熱戦に終止符を打ちました。

又、北信越大会出場順位決定戦は、第１セットこそエースにミスが目立った広徳中が自滅に近い形で 13 点しか取れずにセットを落としましたが、第２セット以降は、そのエースがストレートを中心に打ってリズムを奪い返しました。春富中もクイックやフェイントを混ぜながら反撃しましたが、相手の攻撃をディフェンスし切れず、第２セットは 25－19、第３セットも 25－17 で広徳中が勝利しました。

尚、男女各上位４校は、３月に石川県加賀市・小松市で行われます菅公学生服杯（昨年迄のモルテン・ミカサカップ）第 15 回北信越中学新人バレーボール優勝大会に出場します。長野県チームの活躍を期待したいと思います。

2016/17 V･チャレンジリーグⅡ男子須坂大会のご案内

【協会事務局】

２月 11 日（土）、12 日（日）須坂市市民体育館にて長野ガロンズのホームゲームが開催されます。新チームとして今季より大会に臨み、一歩ずつ結果を残し強くなった選手たちの姿をご覧ください。皆様のご来場、ご声援を宜しくお願いします！

2 月 11 日(土)　一般開場　10：00～

第１試合　11：00～
奈良ＮＢＫドリーマーズ　VS　東京トヨペットグリーンスパークル
第２試合　13：00～
きんでんトリニティーブリッツ　VS　兵庫デルフィーノ
第３試合　15：00～
長野ＧａＲｏｎｓ　VS　千葉ゼルバ

2 月 12 日(日)　一般開場　10：00～

第１試合　11：00～
東京ヴェルディ　VS　千葉ゼルバ
第２試合　13：00～
きんでんトリニティーブリッツ　VS　近畿クラブスフィーダ
第３試合　15：00～
長野ＧａＲｏｎｓ　VS　兵庫デルフィーノ

チケット情報

１階自由席　　大人　2,000 円（2,200 円）
中高生　1,000 円（1,200 円）
小人（小学生）　500 円（700 円）

販売所

日本バレーボールリーグ機構　Ｖリーグチケット

お問合せ先

信州スポーツプロモーション　026-405-6569

1月 試 合 結 果

☆　第 69 回全日本バレーボール高等学校選手権大会
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2016siaikeka/29.1.4haruko.pdf

☆　2016/17 V・チャレンジリーグ I 男子伊那大会
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2016siaikeka/29.1.14vcl1_ina.pdf

☆　長野県高等学校新人体育大会バレーボール競技会
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2016siaikeka/29.1.14koko_sinjin.pdf

☆　2016/17 V・チャレンジリーグ I 男子大町大会
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2016siaikeka/29.1.21vcl1_omachi.pdf

☆　エプソン杯第 32 回長野県中学校選抜優勝大会
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2016siaikeka/29.1.28epson_tyugaku.pdf

2月 スケジュール

1.	2/4(土)～5(日)	第 2 回指導普及委員会	(長野市)
2.	2/10(金)～12(日)	第 17 回北信越高等学校新人バレーボール大会	(福井県)
3.	2/11(土)～12(日)	2016/17 V・チャレンジリーグⅡ男子須坂大会	(須坂市)
4.	2/12(日)	モルテン杯第 11 回クラブ VB 9 人制選手権大会県予選会	(大町市)
5.	2/15(水)	(公財) 日本バレーボール協会　加盟団体代表委員総会	(東京都)
6.	2/19(日)	強化委員会	(塩尻市)
7.	2/25(土)～26(日)	第 7 回全国 6 人制リーグ女子決勝リーグ	(塩尻市)
8.	〃	全国指導普及委員長・加盟団体指導普及委員長会議　研修会	(大阪府)
9.	〃	総務委員会・競技委員会	(塩尻市)